

実況中継「土曜講座」

第3号

2024年6月14日発行

市川学園6月1日の土曜講座 於 北館1F 多目的ホール

村井純先生

デジタル文明

慶應義塾大学教授



村井純先生のご紹介

- 1955年 東京都生まれ
- 1979年 慶應義塾大学工学部数理工学科卒業
- 1987年 慶應義塾大学大学院工学研究科 工学博士号取得
- 1990年 慶應義塾大学環境情報学部助教授
- 1997年 慶應義塾大学環境情報学部教授
- 2009年 慶應義塾大学環境情報学部長
- 2020年 慶應義塾大学教授
- 2021年 デジタル庁顧問

主な講義内容の紹介

2024年6月の土曜講座は、慶應義塾大学教授による、インターネットがどのように社会や文明の発展に影響を及ぼしたかに関する講演でした。

今回は「デジタル文明」という題の講演でしたが、インターネットやデジタル技術によって成り立つ文明は歴史の授業で習う古代文明とどのように違うのでしょうか。村井先生のお話によると、実世界は文化・言語・法などが基本的に「国」という単位で区切られた「国際」的なものであるのに対し、サイバー空間は数多くの文化などをひとまとめにし、「国」という単位が存在しない「グローバル」（地球規模）なものであるというのが大きな違いです。

2000年代には世界人口の約6%だったネット人口が2022年には約69%まで伸びています。それでも社会にIT技術が浸透し、リモートワークなどのインターネットを利用した働き方が広まるには長い時間がかかるだろうと予測されていましたが、COVID-19の流行によって大幅に短縮されました。思いがけず追い風を受けデジタル社会が推進されることで、今後は様々な目標達成へのハードルが下がっていくだろうと村井先生はおっしゃっていました。現代社会においては無くてはならないものだけに技術を「善く」使うことを心がけたいものです。

受講レポートから

- ・ 私たちが生きている社会でインターネットは必要不可欠だし、インターネットを通じて人と助け合うこともできるとわかった。もしインターネットを使いながら手術ができれば今よりもっとたくさんの方が助かるので「善のために技術を使う」という言葉はよくわかりました。 (中1女子)
- ・ インターネットについて様々な観点で話を聞くことができたので知識が深まってよかったです。また、インターネットが世界中でつながっているということはすごいことだと改めて実感しました。ここ数十年でインターネットはとても発展し、便利で身近になり、重要な役割を担うようになってきているので、その著しい発展に驚かされました。 (中2男子)
- ・ 今まで道徳の授業などで「インターネット使用における注意」を多く習ってきたのですが、今回の講座は新しい視点で拝聴することができました。特に村井先生の「インターネットは多様性を尊重する、それがインターネットの文明」という考え方は自分にはなかったのでも新鮮でした。近年、小学校低学年の子どもでもスマートフォンを持ちSNSを使えるようになったので、自分が次の世代か後輩に教える立場になるということを考えるととても貴重な体験でした。 (中3男子)
- ・ これまで身近ながら不透明な概念であったインターネットについて開発の第一人者の方から学べる貴重な経験が得られた。2020年以降のコロナの影響によってインターネット技術が発展したこと自体は想像がついていたが20年分の発展を2年で果たしたと聞いて衝撃を受けたし、また今後10年20年と生きていく中で更に速度を増して進化していきだろインターネット産業を楽しむに思う反面、同時に増大する犯罪などの脅威から身を守るために1人1人が確かな知識とリテラシーを持つことが求められていくことが予想できた。 (高1女子)
- ・ 我々が毎日のように利用しているインターネットの普及までの経緯と今後について学んだ。COVID-19を経験し、テレワークやリモートOOといった言葉が浸透したようにデジタル化が進んだことは私も実感していたが、インターネットを利用してやりたいことや解決したい問題を簡単にできてしまう。これもインターネット初期に我々一般人も簡単に利用できるよう整備して下さった先人達のおかげだと知り、感謝したいと思った。今後も更にインターネットの進化・普及により文字通り「何でも」できるようになると聞き、私はインターネットという強大な技術を善い方向に使っていけるようになりたいと思った。 (高2男子)
- ・ コンピューターやインターネットの仕組みは情報の教科書に書いてあり、少しは知っていたけれどその歴史については知らなかったし、実際にインターネットの開発にたずさわっている先生のお話を聞いて面白かったです。インターネットが国の関与を受けないグローバル社会を作り出したことで人間の自由度が増して夢が叶えられる可能性が増える一方、世界規模の犯罪も可能になってしまうのは難しい問題だなと思いました。インターネットを開発する人は世界の人々がより便利な生活を送るために苦勞しているのに、その恩恵の価値に見合わない利益しか得ていないと知って、人間性の優れた人しかできない大変な仕事と思い、また開発に対する給料はどこから支払われるか気になりました。 (高3女子)



(文責：藤田 祐輔 先生)